

防府市文化協会だより

防府市文化協会
(防府市文化財郷土資料館3F)
TEL/FAX 26-6841



会長挨拶



祝儀舞
長唄小曲「千代の寿」
立方 若柳吉祐矢



市長祝辞



表彰式
①平成27年度市民文芸表彰



②平成28年度文化振興奨励賞表彰
(個人、団体)



理事会報告



総会風景

平成28年度 総会

平成28年6月18日(土) 13:00~

防府市文化福祉会館にて

平成二十七年事業及び決算報告
平成二十八年度事業計画及び予算
平成二十八年度より市補助金の増額により、「防府市文化協会だより」を年二回発行することとなり、各文化団体のPRや文化情報を発信していくことが報告された。
最後に、防府民俗芸能連盟所属団体大平ふる里保存会による「ヤンソラ踊り」が披露され、和やかな雰囲気の中無事終了した。



邦楽(尺八)部門

都山流尺八楽範山会

発足日 昭和50年4月1日
代表 小林 範山



生活文化(華道)部門

草月流新光会

発足日 昭和34年4月
代表 中野 倫子

△団体▽



生活文化部門

▽ 國貞喜美江

防府商工高等学校・防府高等学校の茶道部の顧問として生徒を35年間指導し、また市民文化祭お茶席の運営等永年にわたり協力参加している。



民俗芸能部門

川本 禮子

大道地区の人形浄瑠璃の伝承、芸能の保存や指導に永年寄与している。



文芸部門

河村 康子

川柳暦40年。防府市民文芸選者として、永年活躍。防府市民川柳大会においては、事務局として会をまとめ、川柳の普及に力を注いでいる。



民俗芸能部門

永田 菅堂

永年にわたり浜子うた保存会の伝承と振興に寄与している。



美術部門

原田 信夫

独特な表現で市・県・中央にて入選多数。現在は、防府市美術連盟の副会長として、若い作家の指導にもあたっている。

△個人◇

平成二十八年度防府市文化振興奨励賞授賞者紹介

平成二十七年年度 市民文芸表彰者

◎ 川柳の部

○市民文芸賞 田島 山根 利正
○年度賞 新田 坪郷英美子
田島 田邊千寿子
華城中央 藤井 絹枝
江泊 村重 栄子

◎ 俳句の部

○市民文芸賞 国衛 田中 裕子
○年度賞 富海 関谷 和子
自由ヶ丘 春吉 智子
高倉 新山王 哲
国衛 山村さだ子

◎ 短歌の部

○年度賞 大道 重田 二枝
大道 末永 敦子
栄町 林 タキ子
鈴屋 山本 緑
富海 江川 詳子

◎ 自由律俳句

○年度賞 奈美 松下 満江
東三田尻 財間 香苗
桑南 西岡 悦子
警固町 田中 里美
牟礼 吉崎 剛

平成二十七年年度 市民文芸賞 講評

「好奇心見たい聞きたいしてみたい」

山根 利正句
年を重ねると、悲しいかな年々
好奇心というものは薄れていつて
しまいます。
見たい！聞きたい！してみたい！

山根さんの好奇心の進化に大感
激です。アンテナの、感度もすご
くいゝのでしようね。

川柳を続ける者にとつて、おゝ
いに刺激を受け、がんばろうと思
わせる素敵な句です。
文化協会 選者 河村 康子

「日脚の伸び畑より母の声のして」

田中 裕子句
冬至が過ぎて一月半ばともなる
と、一日一日と日が長くなる。こ
れは一日に畳の目ひとつずつとも
言われている。「日脚伸び」は、
その頃を表す季語である。寒気が
ゆるみ、はや畑にかがむ野菜作り
の好きなお母さんが、何かうれし
いこと見つけたのか、娘の作者を
呼ぶ声がする。

長閑な、そして温かい母子の心
の通いが感じられる佳句である。
文化協会 選者 藤井 汎水

防府市文化協会 加入会員の紹介

フォトフレンズ写真意

フォトフレンズ写真意の活動

代表 藤井 三男

私たちの団体は写真のクラブで、
平成二十二年に結成され、二年に一
度程度作品展を行っています。今年
は防府市書道連盟の人たちと合同
で、六月二十四(金)～二十六(日)、作
品展をアスピラートにて行いまし
た。

写真の部門は、二十八名が参加し
て、一人二点～三点出品し、防府
では今までに無かつた事で多くの
人々に喜んでいただきました。会
としては、今
後の予定では、
写真展を老人
ホームに限定
して、二年く
らいで巡回展
を考えており
ます。それと
平行してゲ
ループ展も行
いたいと思っ
ている所です。



アロハ・フラフレンズ

教室の紹介

代表 河野 智恵

中四国ハワイ
アン協会にイン
ストラクターと
して所属してお
ります。

ハワイの先生
からも指導を受
けながら、新田
(ニクラス) 向島
(ニクラス) 中関、
牟礼、ソルトア
リーナ他で指導
しております。

フラ大好きな
アロハの心が
いっぱいの子
です。新しい
曲にも意欲的。
ホイケ(発表
会)、福祉施設
等の訪問、そ
他のイベント
にも参加出演
しております。



スケッチサークル十色会といろかい

スケッチで人生を心豊かに

スケッチサークル十色会 藤村 涼子



平成二十五年十一月、生涯学習課の主催で、水彩スケッチの講座が開かれました。終了後受講生から続けて学びたいという声が多数上がり、熊崎範男先生を講師としてスケッチを楽しむ会がスタートしました。先生は、二十代のころより、仕事のかたわらスケッチを描かれ、退職を機に地元に戻って創作活動を続けて来られました。

平成二十六年四月には、一人ひとりの個性を生かした水彩スケッチをとの考えの基に、会の名前が「スケッチサークル十色会」と付けられました。水彩スケッチを通して豊かな人生を楽しもう、との先生の思いに支えられ、各々がのびのびと描くことができ、現在十八名のメンバーが活動しています。屋外に出かけて、現地を見ながら一時間半余りで描き、最後に額におさめて講評会が行われます。先生の講評が大変勉強になると同時に会員同士も大変刺激になります。天候の悪い時や、冬場は屋内での学習が進められます。

平成二十八年四月には、五日間の日程で作品展を開催しました。防府市近郊を描いた作品が多かったこともあって、来場者の方々に親しみを感じてもらえ、たくさんの方に楽しんでもらえました。現在、次の作品展に向けて活動を進めているところです。



堀江 鴻とハワイアンドリムズひろし

ハワイアン演奏で、少しハワイを

感じてみませんか

代表者 堀江 鴻

一、活動目的

人生六十年を過ぎて、元気なうちにボランティア活動を通じて、老人福祉施設の慰問、地域のイベント等へ参加すること。結成は、平成十五年十月、六名でスタート。「じじ・ばばハワイアンバンド」として、今後も息の続く限り活動を続ける予定です。

二、活動内容、実績

- (一)老人福祉施設の慰問
 - ・ あいおい苑 (防府・湯田・宇部・徳地)
 - ・ まめ舎 (防府)
 - ・ ケアパートナー防府
 - ・ 梅光苑 (四辻)
 - ・ 自由の杜 (防府)
- (二)地域のイベントへの参加
 - ・ じばさんフェア
 - ・ フェスターアスピラート
 - ・ 防府市民音楽祭
 - ・ 天神ピアサマーコンサート
 - ・ 防府妙見神社夏祭り
 - ・ 防府市生き生きシルバークの集い
 - ・ 防府G級フェスターライブ

以上



防府詩吟連合会

歴史ある防府詩吟連合会

会長 中尾 岳奨がくしやう

防府詩吟連合会は昭和四十年六月、当時、防府市内に本部または支部を有する詩吟愛好の団体がお互いの融和と親睦を目指して結成されたものであります。

当時は八団体があり、防府在住・山口大学教授であられた岡田岩吉先生を顧問及び相談役に推戴し、会長には恵比須堂印刷の社長・原田慎太郎先生に就いていただき、会員五百名を越える団体として発足、その年の十月に文化福祉センターの大講堂に各流派の会長や先生方を来賓に招き記念吟詠大会を盛大に挙行了たのがはじまりです。

爾来五十四年、幾つかの変遷と危機を経ながらも先輩会員の努力と協力の甲斐あって永々と七団体が強固な絆で結ばれ、今も活発に活動を続けております。

五年毎の記念大会、二月十一日の建国記念祝賀吟詠大会、八月十五夜観月吟詠大会、毎年行われる「邦楽の会」への参加等を恒例行事として会員が一丸となり、今は来年迎える発足五十五周年記念大会に備え、努力、精進を重ねておるところであります。



楽しみながら伝統芸能を継承

会長 勝間 幸次

室町時代に「編み竹踊り」が独立して演じられたのが始まりと言われる「南京玉すだれ」は、軽妙な唄とリズムと動作で、観る人の心を和やかにする「見立て芸」です。

当会は「南京玉すだれ」の継承と慰問活動・イベント参加等地域貢献活動を目的に、平成二十年一月に会員十一名で創立し、防府市内に事務局を置き、主に山口防府地域を中心に県内で活動しています。

活動内容は、毎月の防府市文化福祉会館での講習会の開催の外、南京玉すだれの楽しさを体験してもらうため体験教室を随時開催。また、老人ホーム等の慰問及び地域のイベント、放課後子ども教室等に参加しています。

当会は、防府市文化協会会員の外、防府市市民活動支援センター、防府市社会福祉協議会防府市ボランティアセンター、防府市教育委員会『ほうふ幸せます人材バンク』『指導者バンク』及び山口市内の公的三機関にも団体登録して活動しています。

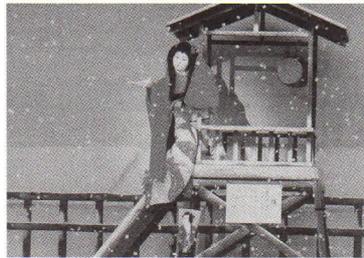
楽しい南京玉すだれ、あなたもやってみませんか！人生が楽しくなりますよ！

再来年には創立十周年を迎えますので、記念行事を予定しています。



防府市文化協会に参加して

若柳 貴吉華



吉冬貴の会は日本舞踊・若柳流を通して、知識・技術を学び、日本文化の向上を目的とし、更に会員相互の親睦を図り、事業として若柳流舞踊会（公社）、日本舞踊会、各地文化祭、おさらい会、ボランティア活動を開催または参加することを常に心がけ目的としています。会員は名取りを含め二十一名おり、十代から八十代まで幅広い年齢層で活動しています。古典舞踊をはじめ新舞踊（歌謡舞踊）をお稽古しています。

吉冬貴師匠は本家のある京都で家元のご指導を受け、福岡県久留米市で行われている家元稽古にも毎年参加しています。私は幼少期の頃より吉冬貴師匠の元で日本舞踊を学び、十五歳の時に名取りとしてお名前をいただき、今日までお稽古に励んできました。

防府市文化協会の総会には毎年個人会員としてお手伝いさせていただいています。普段は交流の少ない各分野の方々や地域の方々とも交流でき、とても楽しく貴重な体験をさせていただきました。個人会員の特典として、市民文化祭の洋舞フェスティバルや邦楽の会が無料で鑑賞できます。個人会員の増員とともに、文化協会のこれからの更なる発展に協力できるよう努力していきたいと思っています。



第46回 防府市民文化祭 邦楽の会 平成27年11月1日 於 防府市公会堂

防府市文化協会支援事業部会は、防府市内に所在する企業及び個人等が参加して結成する組織で、防府市内で実施する文化・芸術等の活動を支援し、市民の文化・芸術の向上を図るとともに、潤いのあるまちづくりに貢献することを目的としています。

具体的には、防府市に在住する団体及び個人の方が、防府市で開催する文化・芸術等の活動に対する助成を行います。

申請期間は、六月末と十一月末の年二回です。審査は、市民文化活動支援事業部委員により、七月と十二月にあります。指定の申請書がありますので、希望される場合は、防府市文化協会事務局まで、お気軽にお立ち寄りください。

併せて、市民文化活動支援事業部会の趣旨に賛同し、防府市内の文化・芸術の振興にご尽力下さいます、防府市内の企業・個人の方を会員として広く募っております。年会費は一万円です。

特典として、文化協会主催行事である洋舞フェスティバル・邦楽の会が無料にてご鑑賞頂けます。

平成23年度～平成27年度 市民文化活動助成交付状況

分野別	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
音楽・美術・文芸・演劇等の創作発表	・市民音楽祭参加及び合唱講習会【20千円】	・合唱による老人保健施設慰問、学校訪問活動【20千円】 ・山頭火讃歌隊結成10周年記念事業【50千円】			・第9回山口県総合芸術文化祭'15やまぐち県詩祭防府【50千円】
公演・展示・鑑賞等の場づくり		・第21回全国山頭火フォーラム【100千円】	・フルートフェスタ山口2013【100千円】	・中関小唄CD作成事業【50千円】	・防府映像サークル第20回ビデオ作品上映会【55千円】
歴史的町並みの保存等文化的な環境づくり					
文化財・伝統芸能の保存伝承			防府民俗芸能まつり【180千円】	・大道文楽人形浄瑠璃保存会による人形浄瑠璃公演【30千円】	・「中関塩浜唄の会」による太鼓演奏【30千円】

平成二十八年度

第一回支援事業部会
審査会報告

(一)平成二十八年度 申請第一号

防府民俗芸能連盟「大平ふる里保存会」出演経費

・・・防府民俗芸能連盟
助成決定額…三万円

(二)平成二十八年度 申請第四号

著作「教室で見た山頭火のころと句の遍歴『そうだったのか、山頭火』の刊行、頒布

・・・西本 正彦
助成決定額…十五万円

(三)平成二十八年度 申請第五号

「野村望東尼百五十回忌記念短歌作品募集と優秀作品の表彰」事業

・・・防府野村望東尼会
助成決定額…十万円

(四)平成二十八年度 申請第六号

第三十四回山口県書道連盟展

・・・一般社団法人
山口県書道連盟防府支部

助成決定額…五万円

助成団体の声

防府映像サークル

大劇場で大きな感動！

会長 清澄 邦夫

私たち防府映像サークルは、昨年十月「イオンシネマ」でビデオ作品の公開映写会を行いました。二百人収容の本格的な劇場で十三本のビデオを上映しましたが、大きなスクリーン、クリアな音響などすぐれた環境の中での上映で、百八十人余のお客さまからは「感動しました」という感想を頂きました。このイベントには、イオンシネマの方のご支援もさることながら、「市民文化活動支援事業部会」から補助金を頂いたのが、大きな支えとなりました。予算面で悩んでいる時、防府市文化協会に相談したところ『支援事業部会』の支援をお願いしたら？』という助言を受けて申請手続きをし、認めて頂きました。

これまでにない沢山のお客さまから喜んで頂けたことは、ひとえに文化活動支援事業部会のお力添えがあったからと、あらためてお礼申しあげます。現在、私たち「防府映像サークル」の会員は二十一人うち女性会員四人。毎月の例会でビデオ作品を持ち寄り、上映鑑賞、意見交換をしています。行けなかった市内の行事や見知らぬ国の旅行記で視野が広がるなど、毎回、ワクワク感を覚えます。意見交換では、撮影の苦心談、編集テクニックの裏ワザを聞くなど、技術の向上に役立っています。「楽しく撮って、楽しく編集」をモットーに目下作品発表会に向けての作品づくりに頭を悩ましています。

公開映写会
と き 十月二十二日(土) 十三時三十分から
と ころ イオンシネマ防府(防府駅南)
月例会
毎月第三金曜日 十三時三十分より
松崎公民館(初心者大歓迎)

市民文化活動の資金
助成を受けて

西本 正彦

(一) 個人で活動したいことがあつて

昭和四十五年に、「郷土の俳人山頭火」を、中学校の道徳で扱ひ、意外にも山頭火の人物が批判的な評価を受けていることを知り、総合的な全体評価が必要だと感じました。

最近では、小・中・高校の国語教科書すべてに、山頭火が扱われており、彼の生涯を正しく理解する情報、資料が喫緊の課題と考えます。

(二) 山頭火の生き方に学びたい
九歳で母の自死に遭ひ、その無念だった生涯を思い、自らの生涯を真剣に考え始めました。そして山頭火は、家業や財産に目もくれず、十三歳にして好きな「文芸」に進みたいという自我にめざめたのです。

その後紆余曲折があつても、人間の真実を追い求めて、文芸は自由律句一筋に貫きました。
(三) 市文化協会市民活動の助成を申請して

出版は、山頭火に詳しい春陽堂に依頼して、「そうだったのか、山頭火」を刊行いたしました。防府市文化協会の市民文化活動助成制度に応募して、十五万円のご援助を賜り、市内各小中学校に山頭火の図書を寄贈することができました。

今が旬！

野村望東尼百五十回忌を迎えて

防府野村望東尼会会長 岡本 早智子

“冬ごもり こらえこらえて 一時に
花咲き満てる 春は来るらし”

望東尼が生涯の最後に詠んだ歌ですが、この歌碑を桑山に建立、四月二日に満開の桜の下で除幕式を行なったところから、野村望東尼百五十回忌記念事業の幕が開きました。

今、最後の校正に精を出しているのは、記念誌『望東尼物語』の刊行で、九月中には発刊の予定です。小学生から読める、望東尼が丸ごと分かる本をつくりたい。どうぞご期待ください。十一月六日(日)は、望東尼のご命日です。当日は記念法要と記念祭を開催します。どうぞどなたでも、ご参加ください。(参加費不要)

・百五十回忌記念法要 (十時～十一時)

この法要は大楽寺(防府市桑山)で行います。百五十回忌記念祭(十三時～十六時三十分)

(会場) アスピラート三階音楽ホール他

(内容) 記念式典(短歌募集優秀作品の表彰を含む)、記念講演(古川薫氏)、望東尼を偲ぶ一時(市内小・中・高校生も参加して音楽劇・吟舞・吹奏楽演奏など) ※お茶席を設けます。(十一時～十六時、リハーサル室)

以上の記念事業には、防府市文化協会から、助成金をいただきました。有難うございます。会員一同心から感謝しております。

地区文化祭開催予定

地区文化祭開催日一覧			
公民館名	開催日	場所	開始時間
富海	11月6日(日)	富海公民館	9時
牟礼	10月16日(日)	牟礼公民館	9時
勝間	10月29日(土) 30日(日)	勝間公民館	29日 9時45分 30日 13時
松崎	11月20日(日)	松崎小学校	9時30分
華浦	10月29日(土) 30日(日)	華浦公民館	29日 9時 30日 13時30分
新田	10月30日(日)	新田公民館	10時
向島	11月5日(土) (予定)	向島小学校	9時
中関	11月13日(日)	中関小学校	8時30分
西浦	11月6日(日)	西浦公民館	9時
華城	11月19日(土) 20日(日)	華城公民館 華城小学校	両日 9時
佐波	11月2日(水) 3日(木・祝)	佐波公民館	2日 18時30分 3日 9時30分
小野	11月6日(日)	小野小学校	9時
右田	10月30日(日)	右田公民館	9時
大道	11月20日(日)	大道小学校	9時
野島	10月23日(日) (予定)	野島小中学校	9時30分

どうぞお誘い合わせの上お越し下さい。
※詳細については、各公民館へ
お問い合わせ下さい。

防府市制施行
八十周年記念式典に参加して

高橋 瑞峯

防府市は一九三六年八月二十五日市政が施行され、八十周年の記念式典が、防府市公会堂千六百人満員の会場で挙行政され、参加の機会を頂いた。
国歌斉唱に続き、佐波小学校六年生の児童五人による「防府市民の誓い」の宣言、参加者全員で唱和した。
式辞で松浦正人市長は「学ぶなら防府、働くなら防府、住むなら防府」、百周年に向けて、安全で美しいふるさとを築くことが使命であると述べられた。

功労者表彰は五十三人と四団体、特別賞として防府市を全国に発信し市勢の伸展に貢献した高川学園高等学校野球部他に表彰状と記念品が授与された。芸術文化功労者としては、窪田耕二氏、坪郷久榮氏、中尾忠一氏が表彰された。来賓祝辞に続き、姉妹都市の米国モンロー市のロバートE、クラーク市長や安芸高田市の浜田一義市長も出席し、祝辞を述べられた。
また、市民栄光賞をリオ五輪陸上出場の高島由香選手に、防府市友好栄誉市民の称号がモンロー市の五人に贈られた。

二時間余りに及ぶ式典も防府市少年少女合唱団の皆さんによる合唱、防府市民の歌斉唱で、閉会となった。
この式典での受賞者の功績を若い世代に受け継いで行けば、明るい未来が開けてくる思いで会場を後にした。
“幸せます。”



楯取素彦顕彰会

窪田 耕二

平成三十年は明治維新から百五十年目になります。

吉田松陰、高杉晋作、久坂玄瑞、坂本竜馬をはじめ維新の志士たちが闊歩した防府市は萩市や下関市、山口市とともに、明治維新胎動の地として、歴史に大きな足跡を残しています。

果たした役割の大きなものをあげると(一)元治元年(一八六二)六月二十四日、のちに明治政府をになう二人の志士、伊藤博文、井上馨が、留学中のイギリス・ロンドンから帰国、横浜から大分県姫島を経由して富海上陸。

(二)慶応元年八月二十六日、三田尻海軍局倉庫に大量の兵器が井上馨により薩摩船胡蝶丸と海王丸によって運び込まれたこと。四境戦争でこの兵器が何十倍の兵力の幕府軍を破ります。

(三)慶応二年十二月二十八日、三田尻貞永邸でのイギリス艦隊キング提督と毛利敬親、元徳親子との会談。

(四)慶応三年(一八六七)十一月二十五日、長州軍の総大将毛利藤内、参謀楯取素彦、総指揮官山田顕義は、鞠生松原の小島神社で必勝の祈りをささげ、向島の小田港から七艦の軍艦に乗り、京都、江戸に東上したことがあげられます。

薩長同盟のきっかけをつくった楯取素彦は、三田尻宰判の最後の代官職を務めています。

明治維新百五十年を機に過去の防府の歴史にも目を向けてみたいものです。

防府市文化協会 後援を受けた団体の活動情報

日 時	行 事 内 容	場 所	入 場 料
10月2日(日) (10:00~14:30)	第45回防府市民短歌大会	防府市文化財郷土資料館講座室	応募料 1首につき1,000円
10月2日(日) (12:00~)	第25回能章まつり	アスピラート3階音楽ホール	無料
10月12日(水) (18:30~21:00)	防府市制施行80周年記念 市民に贈る吹奏楽の夕べ 2016 プリヂストン吹奏楽団久留米コンサート	防府市公会堂	全席指定500円 (3歳未満入場不可)
10月15日(土) (11:30~12:30)	第7回防府天満宮書道パフォーマンス	防府天満宮	無料
10月23日(日) (13:00~)	市民川柳大会	防府市文化財郷土資料館講座室	1,000円
11月6日(日) (13:00~16:30)	野村望東尼150回忌記念祭	アスピラート音楽ホール	無料
11月8日(火) (18:30~20:30)	防府市制施行80周年記念 モンゴル国立馬頭琴交響楽団防府公演2016	防府市公会堂	全席自由 一般3,500円：高校生以下1,000円 (当日500円高、財団会員500円引)
11月12日(土) (14:00~16:00)	第18回マンドリンとギターの集い	アスピラート	500円
11月19日(土) (14:00~15:00)	~英雲荘の歴史につつまれて~ 箏：山野安珠美・尺八：石垣 征山 未来への足音	英雲荘	入場無料(当日は英雲荘入館料も無料)
11月20日(日)~21日(月) (10:00~16:00)	いけばな池坊展	アスピラート2階	無料

防府市立
中学校の
文化祭日程

十月二十二日(土)

防府市立小野中学校

十月二十九日(土)

防府市立大道中学校

それ以外の中学校は、
十月二十三日(日)です。

防府の
名物イベント

防府踊り

「ちよるちよるやちよるおどちよる
みちよるやちよるおどちよる」

平成二十八年七月三日(土)防府駅みなと口で「防府おどり」が開催。飛び入り参加、見覚えのある顔ぶれもあり、見ているだけで、楽しい風景でした。



防府市制施行八十周年記念 第四十七回防府市民文化祭

行事名	とき	ところ	入場料
盆栽展	10月15日(土) 16日(日) 9時～15時	防府市公会堂 ホワイエ	無料
第27回洋舞 フェスティバル	10月22日(土) 13時～16時30分	防府市公会堂	300円
第21回ビデオ 作品上映会	10月22日(土) 13時30分～15時40分	イオンシネマ防府	無料
市民音楽祭	10月30日(日) 13時～16時30分	アスピラート 音楽ホール	無料
邦楽の会	11月6日(日) 10時～16時	防府市公会堂	500円
華道展	11月11日(金) ～13日(日) 10時～17時	アスピラート 2階展示ホール	無料
市民茶会席	11月11日(金) ～13日(日) 10時～16時	アスピラート 2階リハーサル室	席料 300円
健康相談	11月12日(土) 13日(日) 10時～15時	アスピラート 2階展示ホール横	無料
第66回 市美術展	12月7日(水) ～11日(日) 9時～17時 但し7日のみ 10時～17時	アスピラート 2階展示ホール	無料

事務局からのお知らせ

事務局長 岡崎 久美子

防府市文化協会は、昭和四十五年に設立されました防府の文化を高める会が、平成十年において、現在の(公財)防府市文化振興財団と防府市文化協会に改編され、『市民の文化・芸術活動に理解と関心を持ち、会員相互の連絡、提携のもとに、あらゆる文化・芸術活動の促進を図り、市民の文化・芸術の向上に寄与すること』を目的として、文化に富んだまちづくりに貢献すること』を目的として、平成十年十月十六日に設立されました。現在は防府市文化財郷土資料館三階に事務局を置いております。

主催事業は、防府市民文化祭である盆栽展、洋舞フェスティバル、ビデオ作品上映会、市民音楽祭、邦楽の会、華道展、市民茶会席、健康相談、市美術展を開催いたしております。

また、市広報「ほうふ」の一日号において、市民の皆さまより寄せいただいた文芸を掲載するとともに、優秀な作品につきましては、総会において表彰させて頂いております。文芸にご興味がある方は、お気軽にご投稿下さい。

共催事業としてしましては、防府市民自由律俳句大会、防府市民俳句大会、防府市民短歌大会、防府市民川柳大会等を実施しております。

防府市文化協会は、平成二十八年八月末現在で、団体会員百五十五団体、個人会員三千五百人を有しております。会費は、団体会員三千円、個人会員千五百円となっております。各公民館の会議室が、月一回一区分無料で利用できるほか、各団体が活動されるうえでの後援を行います。

個人会員につきましては、防府市文化協会主催行事であります。防府市民文化祭の洋舞フェスティバルと邦楽の会が個人会員証提示により、無料にて鑑賞できます。市民音楽祭につきましては、本年より、団体会員は無料にて舞台に出演参加できます。

詳細につきましては、防府市役所文化・スポーツ課のホームページをぜひご覧ください。

編集

委員長 窪田 耕二
委員 竹尾耶衣子

岡本早智子
佐藤 文彌
高橋 瑞峯

発行

〒七四七-〇八〇八
防府市桑山二丁目一
防府市文化財郷土資料館
三階 防府市文化協会
TEL/FAX〇八三五
(二六)六八四一
平成二十八年九月

編集後記

文化協会だよりを本年度より五月・九月の年二回発行することとなり、文化協会に加入して下さっている各連盟やグループが主催する発表会や作品展などのイベント情報や防府市内在住又は防府市出身者で、防府市内外で文化・芸術において活躍の方々を掲載します。

どうぞお気軽に情報をお寄せください。

